

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00061）

事務事業名称		すぎなみフェスタ			款	03	項	01	目	01	事業	008	整理番号	065		
現担当課名		文化・交流課		係名	すぎなみフェスタ担当係			連絡先電話番号	3772		昨年度整理番号	061				
上位施策No・施策名										31 交流と平和、男女共同参画の推進			予算事業区分		新規事業	
事務事業の概要	事業開始	平成25年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）											
	平成26年度担当課名	地域課			事業評価区分 一般											
	対象	すぎなみフェスタ来場者 すぎなみフェスタ協賛者 すぎなみフェスタ連携イベント			根拠法令等	(1)		すぎなみフェスタ実行委員会規約								
						(2)		杉並区地域活性化事業推進本部設置要綱								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」を基本理念に、すぎなみフェスタを開催する。すぎなみフェスタを中核に、他のイベントと連携しながら、杉並の魅力を内外に発信し、地域社会・地域経済の活性化につなげる。			活動指標	指標名（1）		すぎなみフェスタ開催								
					指標説明		すぎなみフェスタ実行委員会・作業部会開催									
					指標名（2）		すぎなみフェスタ実行委員会・作業部会開催									
					指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	すぎなみフェスタ実行委員会において、イベント内容を企画して実施する。杉並区地域活性化事業推進本部で検討を行い、庁内の応援体制を組み実施する。すぎなみフェスタ実行委員会へ事業共催分担金を支出する。			成果指標	指標名（1）		すぎなみフェスタへの来場者									
					指標説明		2日間の延べ来場者数									
					指標名（2）		すぎなみフェスタへの協賛金額									
					指標説明		すぎなみフェスタへの企業・団体・個人の協賛合計額									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画								
指標	活動指標（1）	1 回		1	1	1	1	1	100.0							
	活動指標（2）	2 回		9	9	9	6	10	66.7							
	成果指標（1）	3 人		100,000	75,000	80,000	82,000	85,000	102.5							
	成果指標（2）	4 千円		6,530	6,365	7,800	8,065	8,800	103.4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円		13,500	13,499	12,000	12,000	11,000	平成26年度 予算執行率(%)	100.0						
	(内) 投資的経費等	6 千円		0	0	0	0	0	特記事項							
	(内) 委託費	7 千円		35	34	0	0	0								
	職員数	常勤職員数	8 人		1.00	1.15	1.00	1.15	1.50							
		再任用職員数	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円		8,630	9,925	8,810	10,132	13,215							
		再任用職員分	12 千円		0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円		0	0	0	0	0							
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円		22,130	23,424	20,810	22,132	24,215								
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円		22,130,000	23,424,000	20,810,000	22,132,000	24,215,000								
	財源	受益者負担分	16 千円		0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円		0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円		0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19 千円		0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0	0	0	0	0								
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		22,130	23,424	20,810	22,132	24,215								
受益者負担比率 (16÷14)	22 %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	065
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみフェスタ実行委員会への事業共催分担金の支出	2	回	12,000
		杉並区地域活性化事業推進本部会・幹事会	6	回	0
		すぎなみフェスタ応援職員説明会	2	回	0
		その他()			
(2) 事業実績	<p>連携開催した杉並区農業祭、すぎなみパン祭り・スイーツフェア、すぎなみ産業フェアなどの各イベント主催者等と協力しながら、11月8日・9日に桃井原っぱ公園をメイン会場として「すぎなみフェスタ2014」を開催し、延べ8万2千人の来場者がありました。</p> <p>また、開催にあたって、広告協賛に延べ184件、運営協賛に延べ111件の企業・団体等から協賛をいただきました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成24年度に桃井原っぱ公園で開催した「杉並区80周年まつり」が延べ約9万3千人の来場者があり、盛況に終了しました。この事業成果を継続的に生かしていくため、同様の実行委員会方式による取り組みとし、25年度から「すぎなみフェスタ」という名称に変え、毎年秋に実施する一大イベントとして定着してきました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>昨年度・一昨年度とも来場者から大変な好評を得ていますが、反面、会場近隣の住民等から、会場設営に対する騒音やステージイベントの音量、敷地内の駐輪場への無断駐輪、居住者専用通路を通じて荷物の搬出入している出店業者、近隣店舗の駐車場の混雑等の苦情も寄せられました。</p>			
	今後の予測	<p>区内で開催される様々なイベントを杉並の「良さ」、「らしさ」として捉えて、すぎなみフェスタを核としたイベントを積極的に区内外へ周知し、集客力を高めることにより、まちのにぎわいの創出や地域経済・地域社会の活性化につなげていきます。</p>			
評価と課題	<p>「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」を基本理念に掲げた『すぎなみフェスタ』は、杉並の良さ・魅力の区内外への発信を通して、地域社会や地域経済の活性化に貢献しています。今後の開催に際しては、実施内容の一層の工夫や他の地域イベントとの効果的な連携、企業・団体・個人からの協賛の安定的な確保を図られるよう取り組んでいきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	今後の進め方	<p>すぎなみフェスタ来場者には大変な好評を博しているため、現在の方法で継続して開催することに問題はありません。ただし、来場者数の推移や会場周辺からの苦情、協賛金の推移等によって、イベント内容や開催時期、開催会場の見直しを含めた検討が必要となります。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00065)

事務事業名称		平和事業の推進				款	03	項	01	目	01	事業	012	整理番号	069	
現担当課名		区民生活部管理課		係名		庶務係		連絡先電話番号		3755		昨年度整理番号		065		
上位施策No・施策名										31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度	実行計画事業		目標	05	施策	31	計画事業		03					
	平成26年度担当課名	区民生活部管理課										事業評価区分		一般		
	対象	区民、関係団体、民間団体				根拠法令等		(1)		杉並区平和都市宣言						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		指標名(1)		平和のつどい開催日数							
	区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深め、世界の恒久平和に寄与する。				指標説明		指標名(2)		後援名義等使用件数							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標説明		成果指標		平和のつどいへの参加者数								
平和のつどいの実施 平和のためのポスター絵画コンクールの実施 北朝鮮拉致被害者家族支援 平和への意識の啓発を図る				指標説明		指標名(1)		平和のつどいへの参加者数								
				指標説明		指標名(2)		平和のためのポスター絵画コンクール応募者数								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	日	6	20	10	20	15	17	75.0						
	活動指標(2)	2	件	6	12	7	12	7	12	58.3						
	成果指標(1)	3	人	700	700	672	700	950	1,000	135.7						
	成果指標(2)	4	人	831	830	928	850	1,042	1,100	122.6						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,172	3,450	2,811	3,092	2,865	9,569	平成26年度 予算執行率(%)	92.7					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	214	646	561	372	288	4,766							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.65	0.80	0.80	0.70	0.90	0.90						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	5,655	6,904	6,904	6,167	7,929	7,929						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	278	278	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	7,827	10,632	9,993	9,259	10,794	17,498						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	1,304,500	531,600	999,300	462,950	719,600	1,029,294						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	7,827	10,632	9,993	9,259	10,794	17,498							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	069	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		平和のつどい（8月・3月）	3	回	794	
		北朝鮮拉致被害者家族支援	4	回	84	
		平和のためのポスター絵画コンクール	1	回	1,212	
		平和事業の連携啓発			775	
		その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>平和のためのポスター絵画コンクールについては、区内20校・1042人の応募があり、審査会、表彰式、展示会を行いました。北朝鮮拉致被害者家族支援については、区役所でパネル展を開催し、さらに3か所の地域区民センターのイベントでパネル展示を行いました。また、平和教育授業に関するゲストティーチャーを区立小学校4校に派遣し、児童・生徒に戦争・被爆体験談を伝え、平和について考える授業を実施しました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	戦争体験者・被爆体験者の高齢化が進んでいるため、戦争の惨禍を風化させずに平和の尊さを次の世代に語り継ぐ必要があります。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	原水禁署名運動発祥の地として、平和都市宣言自治体として、平和の尊さの啓発に取り組んでいってほしい旨の要望がありました。				
	今後の予測	昭和63年3月30日に「杉並区平和都市宣言」を行いました。策定された基本構想・総合計画等を踏まえ、区民の豊かな生活と活動の基盤となる平和な社会の実現を目指していくため、国内外の都市との連携が必要不可欠と思われます。				
評価と課題	区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深め、世界の恒久平和に寄与することを目標としています。区役所での写真展示やコンサート、ポスターコンクールなど様々事業を通して平和への願いを伝えていきます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	「平和都市宣言」にある「次の世代に伝えよう」を原点として、今後もさらに、若年層を中心に「戦争の悲惨さ、平和の大切さ」を伝えていく取組を行っていきます。				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00066）

事務事業名称		男女共同参画の推進				款	03	項	01	目	01	事業	013	整理番号	070	
現担当課名		区民生活部管理課				係名		男女共同・犯罪被害者支援係				連絡先電話番号	3756	昨年度整理番号	066	
上位施策No・施策名											31 交流与平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成 3年度	実行計画事業 目標 05 施策 31 計画事業 04													
	平成26年度担当課名	区民生活部管理課										事業評価区分		一般		
	対象	区民、職員、各主管課				根拠法令等		(1)		男女共同参画社会基本法		(2)		杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱		
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	男女平等や男女共同参画についての理解を深める。男女共同参画行動計画を着実に実行する。				活動指標		指標名（1）		男女共同参画推進区民懇談会の開催数		指標説明		啓発品作成数		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	男女共同参画意識の啓発「杉並区男女共同参画行動計画」の策定、推進区民懇談会で男女共同参画についての区民意見を聴取				成果指標		指標名（1）		審議会等における女性委員の登用割合		指標説明		啓発品配布数		
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1	回	3	5	0	5	2	3	40.0						
	活動指標（2）	2	個	2,000	5,000	5,000	2,000	2,000	2,000	100.0						
	成果指標（1）	3	%	37.1	38.0	34.3	38.5	34.6	38.5	89.9						
	成果指標（2）	4	個	2,000	5,000	5,000	2,000	2,000	2,000	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,438	1,324	778	1,939	1,145	2,877	平成26年度予算執行率（%）		59.1				
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	50	36	4	46	22	114							
	職員数	常勤職員数	8	人	1.57	1.30	1.35	1.30	1.30	1.30						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	13,659	11,219	11,651	11,453	11,453	11,453						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費（5+11+12+13）	14	千円	16,097	12,543	12,429	13,392	12,598	14,330							
	単位あたりコスト（(14-6)÷1）	15	円	5,365,667	2,508,600	0	2,678,400	6,299,000	4,776,667							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計（16+17+18+19）		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源（14-20）		21	千円	16,097	12,543	12,429	13,392	12,598	14,330							
受益者負担比率（16÷14）	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	070
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		男女共同参画行動計画進捗状況調査	1	回	529
		啓発用品の作成・購入等	2,000	個	191
		男女共同参画推進区民懇談会	2	回	106
		男女共同参画推進会議・幹事会	5	回	0
		その他（ ）			319
	(2) 事業実績	DV被害者支援充実のため、男女共同参画推進会議、同幹事会及び検討会において配偶者暴力相談支援センター機能整備について検討を行いました。（推進会議2回、幹事会3回、検討会5回、他区視察1回、職員研修1回）。また、事業者向けセミナーを東京都と共催で開催し、2日間で延べ47名の参加がありました。その他、区内6大学へのDVカードを配布（各1,000枚）や女子美術大学のデザインによるポスターの作成など普及啓発に努めました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	審議会等における女性委員の登用率（平成4年25.1% 平成26年34.0%）は、向上していますが、事業の検討過程や計画策定等の意思決定過程において、さらに女性の参画を進める取り組みが必要です。 DV相談件数は増加傾向にありましたが、ここ数年は約300件程度で推移しています。（平成14年度212件 平成24年度331件 平成25年度319件 平成26年度330件）			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	男女共同参画推進区民懇談会の委員からは、女性の社会進出、社会での活動を積極的に進める区政を要望する声があります。関係団体からは、男女共同参画推進条例の制定や審議会設置について、また男女平等推進センターについては、その活性化や利便性の良い場所への移転を希望する声があります。			
	今後の予測	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の制定や第4次男女共同参画基本計画の策定により、女性の職業生活と家庭生活との両立を図るための必要な環境整備が進み、社会における女性の活躍推進がさらに進みます。そして、仕事と生活の調和が図られ、男女が共に充実した職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる社会の実現が求められます。			
	評価と課題	男女共同参画推進行動計画（平成25～29年度）について進捗状況調査を実施しました。今年度から新たに取組事業ごとに担当課の自己評価を取り入れましたが、行動計画の着実な実行と進捗状況をさらにわかりやすくするためには、評価基準の見直しについての検討が必要です。 男女共同参画推進については、区民や企業への啓発とともに、職員啓発についても計画的な研修の実施が望まれます。 配偶者暴力相談支援センター機能整備については、引き続き福祉事務所との連携を密に進めてまいります。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	行動計画には、保健福祉、産業振興、まちづくり、教育等、幅広い分野の取り組みが盛り込まれています。このため、庁内推進組織である「男女共同参画推進会議」のもと必要な調整を図り、男女共同参画に関する総合的な取り組みを推進していきます。 また、成果指標等の数値目標を踏まえ、事務事業の推進状況調査を毎年実施し、区民懇談会で意見を聞き、取組の改善につなげていきます。 平成26年度に改定した総合計画・実行計画の内容を行動計画に的確に反映し、男女共同参画の取組をより一層推進するため、平成27年度に行動計画の改定を行います。 計画期間の終盤では、「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」を行い、区民生活の中での男女共同参画の進捗状況を確認します。			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00067)

事務事業名称 男女平等推進センターの運営			款 03	項 01	目 01	事業 014	整理番号 071				
現担当課名 区民生活部管理課		係名 男女共同・犯罪被害者支援係		連絡先電話番号 3756	昨年度整理番号 067						
上位施策No・施策名 31 交流と平和、男女共同参画の推進						予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 9年度	実行計画事業	目標 05	施策 31	計画事業 04						
平成26年度担当課名	区民生活部管理課					事業評価区分	一般				
対象	区内在住・在勤・在学者、区内女性団体・グループ、男女平等推進センターを利用する個人・団体		根拠法令等	(1)	杉並区立男女平等推進センター条例						
				(2)	杉並区立男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標	講座の開催回数							
	男女共同参画社会づくりに関する情報提供や講座の開催等により、意識啓発を図る。女性団体等が講座等の企画運営に携わることにより、積極的な地域活動や団体育成を促進する。相談者が抱える様々な悩みことに関し、適切な指導・助言を行い自分らしい生活を送るための手助けをする。		指標名(1)	女性相談の日数							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標名(2)								
	男女共同参画の推進を目的とした啓発講座等の開催 男女共同参画に関する情報の収集・発信、区内の女性団体等の育成・交流の支援 女性相談員による電話と面接による相談の実施 女性弁護士による法律相談の実施 男女平等推進センターの維持管理		成果指標	区民向け啓発講座受講者の延べ人数							
			指標名(1)	配偶者等からの暴力についての相談件数							
			指標名(2)								
			指標説明								
区分	単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	回	15	12	12	15	17	15	113.3	
	活動指標(2)	2	日	305	304	303	305	305	307	100.0	
	成果指標(1)	3	人	327	300	459	500	470	500	94.0	
	成果指標(2)	4	件	136	200	147	200	132	200	66.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	19,787	20,911	18,446	20,963	19,011	20,890	平成26年度予算執行率(%) 90.7	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 男女平等推進センター相談室の運営事業者について、公募型プロポーザルを実施しました。	
	(内)委託費	7	千円	16,525	17,231	15,543	17,425	15,928	17,358		
	職員数	常勤職員数	8	人	1.30	0.40	0.50	0.40	0.60		0.40
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	1.00	1.00	1.00	0.73		0.61
	人件費	常勤職員分	11	千円	11,310	3,452	4,315	3,524	5,286		3,524
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	284		0
		非常勤職員分	13	千円	0	2,780	2,780	2,830	2,066		1,726
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	31,097	27,143	25,541	27,317	26,647	26,140		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	2,073,133	2,261,917	2,128,417	1,821,133	1,567,471	1,742,667		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	31,097	27,143	25,541	27,317	26,647	26,140		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	071	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		相談業務委託		305	日	10,286
		維持管理経費		305	日	3,605
		施設保守管理委託		305	日	1,090
		講座の開催		6	講座	1,360
		その他（法律相談、情報誌の発行、図書購入ほか）				2,670
	(2) 事業実績	<p>相談事業については、一般相談と法律相談を合わせて996件と前年に比べ約30%増となり、幅広い年代の方々の身近な相談窓口となっています。また、平成27年度からの相談時間の拡大に伴い、公募型プロポーザルを実施し運営事業者の選定を行いました。</p> <p>男女平等推進センター講座は、5事業の募集に対し11企画の応募があり、その中から若い世代を対象としたDV講座や防災への女性の参画を考える企画などを6講座実施し、延べ470名の参加がありました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>DVに関する社会的な関心の高まりなどを受けて顕在化していたDV被害者からの相談は、ここ数年は区全体で300件程度で推移しています（H24年度331件、H25年度319件、平成26年度333件）。相談事業は平成19年度から事業委託しています。</p> <p>区民を対象とした男女平等推進センター講座は、平成22年度から講座の企画を公募し実施しています。毎年、新しいNPO法人や団体から幅広いテーマでの応募があります。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>男女平等推進センターの場所について、わかりずらいので利便性の良い場所へ移転して欲しいとの意見があります。</p> <p>また、図書コーナーの図書について、より多くの区民が利用できるように区立図書館と連携して欲しいという要望があります。</p>				
	今後の予測	<p>DV被害者からの相談については、平成28年度に設置される配偶者暴力相談支援センターとの連携が求められます。また、区の各相談窓口との連携や、幅広い領域からの専門的な相談に対しても適切に対応できるよう相談員のさらなる質の向上が求められます。</p>				
	評価と課題	<p>男女平等推進センター講座企画については、募集に対して2.2倍の応募があり、講座参加者は延べ470名と昨年を上回りました。毎年、新規団体からの応募がありますが、バランス良いテーマ設定や講座の固定化を防ぐためには、企業参加についても検討が必要です。</p> <p>相談事業については、昨年度に比べ相談件数は増加しましたが、身近な相談窓口としてさらに多くの区民に利用していただけるよう、引き続きPRに努めます。また、定期的に相談員の研修を実施することにより相談員の質の向上を図ります。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し			
	今後の進め方	<p>男女平等推進センター講座については、行動計画に基づきバランス良くテーマ設定をし、多くの区民へ啓発を行ってまいります。また、実施団体や講座の固定化を防ぐため、講座の実施主体を地域団体等に限定せず、企業参加についても検討してまいります。</p> <p>相談事業については、平成28年度の配偶者暴力相談支援センター機能整備に伴い、DV被害者支援については、配偶者等暴力相談支援センターとの役割分担を明確に対応してまいります。</p> <p>男女平等推進センターについては、様々な機会を活用して積極的にPRを行い活性化に努めます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

(00069)

事務事業名称 国際・国内交流の推進			款 03	項 01	目 02	事業 002	整理番号 073				
現担当課名 文化・交流課		係名 交流推進担当係		連絡先電話番号 3785	昨年度整理番号 069						
上位施策No・施策名 31 交流と平和、男女共同参画の推進						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成元年度	実行計画事業	目標 05	施策 31	計画事業 01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成26年度担当課名	文化・交流課					事業評価区分	一般			
	対象	区内在住、在勤、在学		根拠法令等	(1)	国内友好都市（名古屋市・東吾妻町）との交流協定					
					(2)	国外友好都市（ウイロビー市・瑞草区）との交流協定					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	文化・スポーツ・経済等、多様な分野での交流を行う。 市民レベルの交流を行い、友好親善を深める。 多文化との共生の実現に向け、相互理解を深める。			活動指標	指標名（1）	国際交流事業参加者数				
					指標説明	国内交流事業参加者数					
					指標名（2）	指標説明					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	交流自治体（北海道名寄市、群馬県東吾妻町、ウイロビー市（オーストラリア）、ソウル市瑞草区（大韓民国）等）の代表団の受入、区代表団の派遣 交流自治体が区民を対象に行う生産物即売等各種事業の支援 他課・他団体が行う交流事業への支援			成果指標	指標名（1）	友好都市訪問者数・来訪者数					
					指標説明	国際・国内友好都市との交流事業参加者数					
					指標名（2）	指標説明					
					指標説明						
区分	単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度			
		実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	人	964	3,300	1,212	3,300	883	1,500	26.8	
	活動指標（2）	2	人	3,914	2,500	3,693	3,000	3,874	4,200	129.1	
	成果指標（1）	3	人	1,606	1,200	1,924	2,000	2,767	3,000	138.4	
	成果指標（2）	4	人	2,334	2,200	2,512	2,600	3,564	3,600	137.1	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,148	10,388	8,038	8,764	6,655	21,740	平成26年度 予算執行率(%) 75.9	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行残の理由 食糧費、翻訳料ほか 実績による残	
	(内) 委託費	7	千円	704	542	220	540	143	5,355		
	職員数	常勤職員数	8	人	3.30	2.98	3.34	3.30	3.26		2.30
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		1.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	28,710	25,717	28,824	29,073	28,721		20,263
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		4,050
		非常勤職員分	13	千円	2,750	2,780	2,780	2,830	2,830		2,830
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	37,608	38,885	39,642	40,667	38,206	48,883		
	単位あたりコスト (14-6)÷1)	15	円	39,012	11,783	32,708	12,323	43,268	32,589		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	37,608	38,885	39,642	40,667	38,206	48,883		
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	073
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		友好都市等親善訪問団受入れ	11	回	867
		国際・国内交流自治体訪問	18	回	2,315
		その他（友好都市等交流事業ほか）			3,473
(2) 事業実績	<p>区役所を会場とした交流自治体物産展を年間15回開催、桃井原っぱ公園で開催した「すぎなみフェスタ」には8自治体が参加し、各自治体の特産品販売や観光PRを行いました。 交流自治体が開催するまつりに区代表団や高円寺阿波おどり団計179人を派遣したほか、東京高円寺阿波おどりには、交流自治体から代表団や阿波おどり団計198人の受入を行いました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成元年に東吾妻町（旧吾妻町）、名寄市（旧風連町）との交流がスタートし、その後は、災害時相互援助協定等の締結を契機に小千谷市、北塩原村、南相馬市、青梅市と交流を行っています。更に23年度～24年度で武蔵野市、忍野村、南伊豆町との交流がスタートしました。従来の儀礼的な交流から物産展やバスツアーのなど区民交流や経済的な交流を軸とした民々の交流に力を入れています。また、海外の友好都市であるオーストラリア連邦ウィロビー市と青少年交流、大韓民国ソウル特別市瑞草区と職員交流を実施したほか、台湾台北市との中学生親善野球大会が行われています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>交流自治体物産展では、農産物が産地直送のため新鮮で良質な物が多いことから完売となることが多く、農産物を主体とした物産展が多く区民に期待されています。 区が交流協会と共催で実施している海外文化を紹介するイベントには、幅広い年齢層の区民参加があり、また、次回の開催を期待する声が多く寄せられます。 交流自治体の豊かな自然を体験できる交流事業を実施して欲しいとの要望があります。</p>			
	今後の予測	<p>各交流自治体が地方版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、都市と地方が共存共栄を目指すための自治体連携に取り組む中で、これまで以上に交流事業の多様化が進むことが予測されます。東京オリンピック・パラリンピックが近づく中で、外国からの観光客や在住外国人が増加し、国際化の進展が予測されます。また、国際交流都市からの来訪者の増加も予測されますので、それに対応した施策や受入体制の充実を図っていく必要があります。</p>			
評価と課題	<p>産地直送野菜や海産物の販売を主体とした物産展を年間通じて開催し、多くの区民に新鮮な物産を提供しました。また、忍野村の富士山写真作品を含め、交流自治体の自然豊かな風景を写した写真展を開催し、交流自治体の魅力を発信しました。 平成27年度は、物産展会場（区役所）の庁舎修繕工事が予定されているため、来客者の安全確保に配慮し開催することを検討します。 平成27年度にウィロビー市、平成28年度に瑞草区が友好都市協定締結25周年を迎えるため、周年行事や今後の交流などについて、両都市との協議を行っていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>区と国内交流自治体がお互いの強みを活かし、課題を補完し合うことによって、双方が活性化し住民生活が豊かになるよう文化・スポーツ・経済等の交流事業を推進していきます。 国内交流自治体との交流については、区民からの期待が大きい物産展や写真展の開催を通じて、区民が交流自治体について、理解と親近感を抱くことにより、認知度の向上を図っていきます。 国際友好都市との交流については、ウィロビー市や瑞草区との周年事業等の交流を行うほか、台湾（台北市）とは中学生野球交流や阿波おどり等の交流を行っていきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00070 ）

事務事業名称		杉並区交流協会助成			款	03	項	01	目	02	事業	003	整理番号	074	
現担当課名		文化・交流課		係名	交流推進担当係			連絡先電話番号	3785		昨年度整理番号	070			
上位施策No・施策名										31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始														
	平成26年度担当課名	文化・交流課									事業評価区分	一般			
	対象	区民、交流団体			根拠法令等	(1)		杉並区交流協会補助金交付要綱							
					根拠法令等	(2)									
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	国際交流の推進による多文化共生の地域社会が構築されています。 国内交流において市民レベルの草の根交流が活発に行われています。 交流協会が交流事業のコーディネーターとして十分な機能、役割を担っています。			活動指標	指標名（ 1 ）		ボランティア登録数							
				指標説明	指標名（ 2 ）		事業回数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	杉並区交流協会に対し、交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。			指標説明	成果指標		指標名（ 1 ）		協会会員数						
				指標説明	指標名（ 2 ）		指標説明		事業参加者						
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（ 1 ）	1	人	184	150	221	230	343	350	149.1					
	活動指標（ 2 ）	2	回	177	110	233	240	533	540	222.1					
	成果指標（ 1 ）	3	人	457	600	448	600	451	600	75.2					
	成果指標（ 2 ）	4	人	1,653	1,500	1,638	1,700	3,135	3,300	184.4					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	27,248	28,665	26,053	30,348	25,219	30,118	平成26年度予算執行率（%）	83.1				
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0	執行残の理由 事業収入増のほか交流事業の執行残					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.13	1.00	1.09	0.00	0.00	0.00	職員数 参事（交流担当）含む				
		再任用職員数	9	人	1.00	1.00	1.00	2.00	2.06	3.00	事業回数 日本語教室を新たに追加				
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	事業参加者数 台湾フェアを新たに追加				
	人件費	常勤職員分	11	千円	9,831	8,630	9,407	0	0	0					
		再任用職員分	12	千円	3,930	3,860	3,860	8,100	8,343	12,150					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費（5+11+12+13）	14	千円	41,009	41,155	39,320	38,448	33,562	42,268						
	単位あたりコスト（(14-6)÷1）	15	円	222,875	274,367	177,919	167,165	97,848	120,766						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計（16+17+18+19）		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源（14-20）		21	千円	41,009	41,155	39,320	38,448	33,562	42,268						
受益者負担比率（16÷14）	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 074

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	交流協会助成			25,219
	(2) 事業実績	<p>中越地震復興10年を迎える小千谷市を80人のバスツアーで訪ね、震災時の体験等を学ぶと共に、牛の角突き、市民との交流の夕べ、日本フィル弦楽四重奏団とソプラノ歌手湯浅桃子氏による中越地震復興記念コンサートに参加し、交流を深めました。また、前年に引き続きまるごと台湾フェアを実施し、多くの参加者を集めました。</p> <p>2020年の東京オリンピック・パラリンピックや外国人観光客の増加に向けて、通訳ボランティアを対象として、語学ボランティアスキルアップ講座を行いました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成3年に国際交流協会として設立、5年に財団化、12年に財団を廃止、杉並区文化・交流協会に統合、その後杉並公会堂や座・高円寺などの文化施設が整備される中で文化部門を廃止しました。18年から杉並区交流協会として再出発し、今日に至っています。25年には、交流協会の理念を「人と人、地域と地域をつなぐ杉並区交流協会」とし、事業を 在住外国人の支援、国内外の自治体交流の推進、多文化共生社会の相互理解の向上の3つの柱に沿って体系づけました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>国際化の進展に対応し、交流協会で行っている日本語教室やサポートデスク相談などの事業に対する期待は高まっています。</p> <p>交流自治体との区民レベルでの交流に向けた訪問ツアーには幅広い区民の参加が広がりつつあり、今後とも充実が求められてきています。</p> <p>諸外国の実情を知る海外文化セミナーや、外国語に親しむような教室などの催しが求められてきています。</p>			
	今後の予測	<p>東京オリンピック・パラリンピックの開催、観光客の増加等、外国人への対応が更に重要となってきます。このような社会状況の中で、語学ボランティアの育成・スキルアップや一般の方々に対して外国人とのコミュニケーションのとり方など、おもてなしの地域文化の創出に向けて交流協会がさまざまな事業を展開する必要があります。</p> <p>また、国が推進している「まち・ひと・しごと創生」に基づき、杉並区と交流自治体とが連携し、相互の地域特性を生かした事業を展開していきます。</p>			
評価と課題		<p>交流協会の「人と人、地域と地域をつなぐ杉並区交流協会」の理念と3つの柱を基本に事業を推進しています。</p> <p>26年度から実施している語学ボランティアスキルアップ研修の充実や育成など、東京オリンピック・パラリンピックを控え、外国人との多文化共生社会に対応していける新たな事業展開が必要です。</p> <p>また、このような課題に対応していくためには、協会サポート委員や事業協力者が不可欠となっており、そのためにも情報の発信、組織的な対応が求められています。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>事業の見直し、新たなニーズに対応した事業を実施し、魅力ある交流協会にしていくことが必要となっています。また、事業実施や協会運営に多くの方に参画していただくことや、交流自治体と連携した事業を推進していきます。</p>			